

府立西成高校の見学に行ってきました! (研修報告)

西成高校は2024年度からステップスクールとなりました。その取り組みを見学してきました。中学校では、なかなか登校できなくて、高校では学びなおしをしたいと考えている子どもにとっては、少し遠いですが(桃山台駅から1時間)、一つの選択肢に入れてもいい学校だと感じました。

- 〈素敵なポイント1〉 始業時刻が9:35 45分×6限授業!
朝がゆっくりなので、余裕をもって登校できる!
教室に空席が少なかった!
- 〈素敵なポイント2〉 毎日30分の国・数・英のモジュール授業。
中学校で出来なかった事が高校で出来るようになったらいい
多くの子が顔を挙げて授業を受けていた!
- 〈素敵なポイント3〉 2人担任制 授業も2人で
- 〈素敵なポイント4〉 定期考査がない 日々のとりくみ重視
- 〈素敵なポイント5〉 入学前、中学校から生徒について丁寧な聞き取り。
教職員全員が共有。社協との連携もあり。
- 〈素敵なポイント6〉 入試が国数英の3教科+面接で
面接:学力検査+調査書の評価=2:1
評価は教科ごとの合計のうち、高い3教科を2倍。

そして、中学校でもマネできたらなと思ったこともありました。

- 〈いいなポイント1〉 「自己目標」を設定し、それを「自己評価」し、
達成できていれば高い評価をもらえる。
寝ないようにする」という目標もあり。
→今まで、教師側の目標設定で評価されていたが、このやり方だと
やる気を出せ、認められることで、自信にもつながる。
- 〈いいなポイント2〉 短いスパンで小テスト。→短期記憶なら何とかできる生徒もいる。
「できた」が増え、自信につながる。学ぶ楽しさも実感できる。
- 〈いいなポイント3〉 授業でも普段の言葉でも難しい言葉ではなく、易しい言葉を使う

西成高校のいりどころはその魅力がパワーアップ!

モジュール授業で「学び直し」をサポート

1年生の国語・数学・英語は、難読教科の少人数授業。
毎日30分程度のモジュール授業で、集中力を維持しながら基礎の定着と、にがて科目を「わかる」ようになることを目指します。

スタート時刻は9:35

西成高校は9:35スタートの45分×6限授業。
朝の時間に余裕をもって登校することができます。

定期考査はありません!

「中間」「期末考査」といったいわゆる「定期考査」はありません。
西成高校では生徒たちの「日々の授業への取り組み」を重視し、
"勉強がにがてでもあきらめずに取り組み姿勢"を評価しています。

知能障がい生徒自立支援コース設置

障がいのある生徒が、障がいのない生徒と「ともに学び、ともに育つ」ことを目指します。
クラスで学習することを希望としながら、生徒個々の状況に応じた学習支援・進路支援を進めています。

進路実現をきちんとめざす

学校設置率(定率)は13年度(10%)から2024年度(100%)
希望の進路を実現するため「3年間の継続したキャリア学習」を
モットーに、「1年生から進路活動」に取り組みます。
西成高校は一人ひとりの進路実現をサポートします!

校内に「カフェ」がある!

校内に思泉軒カフェの「とろりカフェ」があります。カフェには
大人のスタッフさんが出て、おやつを食べたり話を聞いてもらったり、
使わなくても思いっきりここで、生徒たちの憩いの場になっています。

「ステップスクール」としてリニューアル

一人ひとりの個性を大切にしながら、より多様な生徒たちの
「次のステップ」へつなげる経験や学びをサポートします。

選択できる系列・コースがリニューアル

2年生からは自分の興味関心に合わせて系列・コースを選択します。

スポーツ系列	総合スポーツコース/レスポーツコース
カルチャー系列	アートクラフトコース/茶道コース
ライフ系列	ライフデザインコース/福祉コース

生徒の意欲的な学びにつながる
多彩な科目が盛りだくさん!

「エンジョイタイム」という授業がある

教科書は使用しません! 単元の「教科・科目」の枠を超えた「体験」
をとおして興味・関心を高める授業です。興味をもって「エンジョイする」
(楽しむ)ことで、新たな自分に出会えます!

にしなり学

地域の特色をいかした体験学習。
西成高校でしか経験できない学びがあります。
(具体例)
西成の産業にふれる「芸術科「焼くくり」、保健体育科「武道体験」
西成の文化にふれる「華道科「花ももんか科制作」
西成の土地・人にふれる「社会科「熊鷹道フィールドワーク」
西成の地域に出でボランティア・福祉科「ボランティア入門」など

令和6(2024)年度
エンバウムスクールから
ステップスクール
に変わりました!

西成高校では、より多くの生徒にとって魅力ある「しかけ」をたくさん用意しています!